



東濃厚生病院

Hospital public relations magazine

VOL.118

発行者/ JA岐阜厚生連 東濃中部医療センター 東濃厚生病院  
所在地/ 〒509-6101 岐阜県瑞浪市土岐町76番地 1  
TEL/ 0572-68-4111  
FAX/ 0572-68-8934  
URL/ http://www.tohno.gfkosei.or.jp

# すこやか

## Content

● 医療を伝える

年頭のご挨拶

会長 堀尾 茂之 / 病院長代行 安藤 修久

● 知って得する

- ・オートミールの健康効果
- ・部署紹介 / 糖尿病医療チーム

## すこやか 外来診療担当表

2022年1月1日現在

診療科目	月	火	水	木	金	
初診	第1・3・5週	滝川智信 (循環器)	加藤宏雄 (循環器)	伊藤和則 (腎臓)	宮本陽一 (消化器)	内田元太 (消化器)
	第2・4週	橋本賢彦 (呼吸器)	上田一裕 (内分泌)	松原秀紀 (消化器)	田中友規 (腎臓)	横山敬史 (消化器)
内科	3診	野坂博行 (呼吸器)		山口 満 8:30~11:30	野坂博行 (呼吸器)	代務医
	4診	田中友規 (腎臓)	伊藤和則 (腎臓)		澤崎貴子 (腎臓)午後	伊藤和則(1・3・5) 田中友規(2・4)
	5診	代務医	代務医	山口満 8:30~11:30	上田一裕 (内分泌)	代務医
	6診	朱宮孝紀 (循環器)	滝川智信 (循環器)	塚本英人 (循環器)	代務医	加藤宏雄 (循環器)
	8診	横山敬史 (1・3・5)	代務医	橋本賢彦 (呼吸器)	柴田尚宏 (呼吸器)	代務医
	9診	吉田正樹 (消化器)	長屋寿彦 (消化器)	吉田正樹 (消化器)	横山敬史 (消化器)	宮本陽一 (消化器)
	10診	長屋寿彦 (消化器)	内田元太(1・3・5) 松原秀紀(2・4)	内田元太 (消化器)	長屋寿彦(1・3・5) 宮本陽一(2・4)	松原秀紀 (消化器)
	神経内科	代務医 9:30~16:00	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司
	小児科	代務医	代務医	代務医	高田勲矢	佐々木明
	外科	1診	田中健太	北條由実子	大谷 聡	田中健太
2診			安藤修久	山本希誉仁 (血管外科)	山村和生	大谷 聡
乳腺		山村 和生 (2・4)				代務医 13:30~15:30
整形外科	1診	(手の外科) 代務医 9:30~11:30	佐藤 央	岸本烈純 9:30~11:30	大間知孝顕	杉浦洋貴
	2診	岸本烈純 9:30~11:30	大間知孝顕	大間知孝顕	佐藤 央	平石 孝
	3診	平石 孝	杉浦洋貴		杉浦洋貴	岸本烈純 9:30~11:30
脳神経外科			代務医			
皮膚科	1診	稲垣克彦	稲垣克彦	稲垣克彦	代務医	代務医
	2診				稲垣克彦	
泌尿器科			代務医	代務医 9:30~11:30	代務医 9:30~11:30	
産婦人科	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	
眼科	1診	白木玲子	白木玲子	白木玲子	金田正博 代務医	白木玲子
耳鼻咽喉科	1診	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎
	2診	岩下利恵		代務医 (第4週)	代務医	
放射線科	可児裕介	可児裕介	可児裕介	可児裕介	可児裕介	
人間ドック 診察	第1・3・5		野坂博行		安藤 操	柴田尚宏
	第2・4	山瀬裕彦	吉田正樹	山瀬裕彦	吉田正樹	安藤修久

**専門・特殊外来**

**内科**

血液内科外来  
第2週木曜日 / 午後

フットケア外来  
第1週金曜日  
9:00~16:00  
第3週木曜日  
9:00~16:00  
第4週木曜日  
9:00~10:30(予約制)

睡眠時無呼吸外来  
毎週木曜日 /  
13:00~15:00(予約制)

**外科**

ストーマ外来  
第1木 第3金 第4水 /  
9:00~12:00(予約制)

乳腺外来  
第2 第4月曜日  
8:30~10:00  
毎週金曜日  
13:30~15:30  
(完全予約制)  
※乳腺外来は、完全予約  
制となっておりますので、  
外科外来までお問い合わせ  
ください。

**整形外科**

スポーツ外来  
毎週木曜日 / 16:00~

**脳神経外科**

特殊外来  
第4木曜日 /  
13:00~16:00(予約制・  
梶田医師)

**皮膚科**

午後診察  
毎週火曜日・木曜日 /  
14:30~16:30

**耳鼻咽喉科**

補聴器外来  
毎週月・火曜日、  
第1・3水曜日 /  
15:00~(予約制)

JA岐阜厚生連  
東濃中部医療センター  
**東濃厚生病院**  
〒509-6101 瑞浪市土岐町76-1  
TEL 0572-68-4111  
FAX 0572-68-8934

受付時間 8:30~11:30  
休 診 土曜・日曜・祝日  
面会時間 13:00~20:00

■健康管理センター(人間ドック)  
TEL:0572-68-4426 FAX:0572-68-9458  
■訪問看護ステーション あゆみ  
TEL:0572-68-8625 FAX:0572-68-8635

**看護職員募集**

当院では、看護職員を募集しています。現場から長期に離れた方でも大歓迎です。ご自身の能力を患者さんのために役立ててみませんか?お待ちしております。

**資格** 看護師・看護補助員

**連絡先** 企画総務課および看護部長室  
TEL 0572-68-4111



# 医療を伝える

THE TOPIC WHICH IS AN NUMBER NOW

今回のテーマ 「年頭のご挨拶」 令和四年



岐阜県厚生農業協同組合連合会  
経営管理委員会会長  
堀尾 茂之



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症に対応している病院並びに職員に対して、多くの心温まるご声援並びに支

援物資等のご援助を賜り感謝申し上げます。

さて、国は質の高い医療提供体制の構築に向け、地域医療構想の実現、働き方改革、医師の偏在対策を「三位一体」で総合的に進める必要があることを示しました。岐阜県においても、地域医療構想に基づき、医療資源の集約化や病院の機能分化など、医療提供体制の適正化を進めています。

国・県の示す方向性を踏まえ、本会は、公的医療機関として地域の行政機関・医師会等と協力し地域に必要とされる医療を継続的かつ安定的に提供できる体制の確保に取り組んでいます。

西濃医療圏では、揖斐厚生病院と西濃厚生病院の病床再編を行い、揖斐勢も限界に近く、担当職員の精神的、肉体的疲弊を大変心配しましたが、皆が自らの医療人としての職責をよく理解し、冷静な対応で乗り越えてくれたことを、ここにお伝えいたします。

国内のコロナ感染者数は、昨年末においては低水準のまま推移して来ましたが、年が明けて再び増加傾向に転じているようです。新種のオミクロン株の動向はまだ不明の点も多いですが、しかし、これまでの一般的な医学の常識では、変異を繰り返すたびに、感染力は増加しても毒性は弱まる、というのがウイルスの本来の性質とされます。基本的な感染対策に留意しつつも、皆が正しい情報により現状を冷静に理解し、少しずつ以前の日常を取り戻して行けたら、と念じております。

さて、土岐市立総合病院との統合による新病院の建設計画は、東濃中部病院事務組合において現在、基本構想および基本計画の素案が固まりつつあります。今年からは、より具体的な計画の陣容や、建設のスケジュールが、徐々に

新春あけましておめでとうございます。皆様すこやかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから、ほぼ2年が経過しました。この間、当院においても地域の基幹病院としての使命を果たすため、職員一同が鋭意努力してまいりました。行政や保健所、近隣の医療施設との連携を図りながら、発熱外来の運営や、コロナ専用病棟の編成等を行なって来ましたが、昨夏には国内の感染増加、いわゆる第5波に伴い、一時30名を超えるコロナ陽性患者の入院を受け入れ、治療にあたってきました。当院の受け入れ態

郡大野町内において新病院(名称・西濃厚生病院、病床数・400床)の建築工事に着手し、令和5年10月の開院に向けて事業を進めています。

東濃医療圏では、東濃厚生病院と土岐市立総合病院を二病院化し、令和7年4月の新病院開設を目指し、基本構想・基本計画の策定を進めています。

飛騨医療圏では、介護療養型医療施設に関する経過措置の期限が令和6年3月末とされていることから、高山厚生病院の今後の方向性について行政機関と検討を進めています。

新型コロナウイルス感染症が約2年に渡り拡大と縮小を繰り返す状況のなか、人々の生活様式や価値観に大き

明らかになるものと思われれます。地域住民の皆さんの声をしっかりと受け止めながら、当地区の実情に即した、「頼りがいのある病院」の設立を目指します。皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。

あらためまして、新しい年に、皆様の一層のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げますとともに、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

な変化をもたらしました。その影響は、本会病院の運営にも大きく波及しています。本会は、今後も感染防止対策を徹底し、従来から行ってきた地域の医療提供体制の維持・充実に努めると共に、感染性医療に対して柔軟に対応できる体制を確保いたします。また、3回目のワクチン接種に対して万全の体制を構築していきます。

## 病院の理念

歩みいる者にやすらぎを、  
去り行く人に幸せを

私たちは地域の皆様に愛され、親しまれ、そして信頼される病院を目指します。

## 行動目標

1. 私たちは日々研鑽に励み、患者さんの立場にたった質の高い医療の提供に努めます。
2. 全職員が患者さんの窓口となり、真心と笑顔で患者さんに接します。
3. 患者さんの言葉を最後まで聴き、患者さんが理解できるよう分かりやすい言葉で説明します。





今回のテーマ

話題!!

# 「オートミールの健康効果」

栄養士 小林ミカ

みなさまに身近な健康にまつわる選りすぐりの情報をお伝えします！

知

つ

て

得

す

る



**朝**のニュース番組で、オートミールの売り上げが前年より、増えているというニュースを見ました。今、コロナ過の状態でお家時間が増え、健康意識が高まったことと、一時スーパーの棚から小麦粉やホットケーキミックスが消えたため、その代替商品としてオートミールを使用したことにより、需要が増えているようでした。

今回は、話題のオートミールについてお話ししたいと思います。

**オ**ートミールとは何か？原料である燕麦（オート麦、オーツ麦、カラス麦とも呼ばれます）を脱穀して調理をやすく加工したものがオートミールになります。食べ方は、水や牛乳・豆乳などで煮て粥状にして食べるのが、一般的です。オートミールは、完全に乾燥した状態から、軽く煮るだけで粥状になり、食べることができるので、朝食のシリアルに食べることが多いようです。その他の食べ方として、オートミールに砂糖やハチミツなどの甘味料と植物油をからめてオーブンで焼けばグラノーラを作ることができます。

オートミールは、消化がよいので、離乳食や食欲が落ちた方にも利用することができます。

**次**にオートミールには、どのような効果があるのでしょうか。オートミールは、全粒穀物であるため、たんぱく質、脂質、ビタミンB1、ミネラル、食物繊維を多く含んでいます。その中でも、水溶性食物繊維である、β-グルカン<sup>①</sup>は糖の吸収を穏やかにしてくれるため、血糖値の急上昇をおさえてくれる効果があります。そのため、血糖値が気になる方やダイエットをされる方にはおすすめです。他にも、食物繊維は、善玉菌のエサになるため、腸内環境を改善します。そのため、便秘の解消にも期待ができます。ただし、お腹を壊しやすい人には注意が必要です。燕麦は、メラトニンも多く含んでいます。このメラトニンは、脳の松果体から分泌されるホルモンで、睡眠に深く関わっています。そのため、不眠症の改善にも役立ちます。

**昨**今、健康意識は高まっていますが、年末年始で、生活習慣や食習慣が乱れやすくなります。年末年始に増えた体重の改善や生活習慣病の予防のために、オートミールを取り入れ、体をリセットしましょう。年末年始で弱った胃に消化の良い中華粥のレシピを裏ページで紹介させていただきます。

米とオートミールの栄養素量の比較

	米 30g	オートミール 30g
エネルギー	103kcal	105kcal
たんぱく質	1.8g	4.1g 米の約2倍
炭水化物	23.3g	20.7g 米より少ない
脂質	0.3g	1.7g
食物繊維	0.2g	2.8g 米の14倍





## 中華粥風オートミール (1人前)

### 材料

オートミール	30g (1/2カップ)
水	300ml
鶏ガラスープ粉末	小さじ1杯
サラダチキン (ほぐしてあるもの)	20g
ほうれん草	20g
人参	10g

※刻み韓国のみ、葱はお好みで



### 中華粥風オートミールの栄養素量

エネルギー	137kcal
たんぱく質	9.0g
炭水化物	23.7g
脂質	2.1g
食物繊維	3.7g
塩分	1.7g

### 作り方

- ①ほうれん草と人参は千切りにします
  - ②水に人参を入れて茹でます
  - ③②の中にオートミール、サラダチキン (ほぐしてあるもの)、ほうれん草、鶏がらスープ粉末を入れて、弱火でオートミールがトロツとするまで煮ます
  - ④火を止めて、お好みで、刻み韓国のみ、葱を散らし、出来上がりです
- ※他にも、おろし生姜・ごま油などを入れるのもおすすめです。

## 東濃厚生病院の

# 「糖尿病医療チーム」

# 部署紹介

当院には、糖尿病専門医と日本糖尿病療養指導士(以下CDCC)という資格を持った看護師、薬剤師、臨床検査技師が在籍し、これらのメンバーが中心となり多職種が協働し糖尿病医療チームとして「糖尿病患者さんが健康な人と変わらない日常生活の質(QOL)を維持し、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるように」を目標に活動しています。

近年、全国的に生活習慣の乱れから糖尿病患者さんも増えてきています。生活習慣の改善は容易でないですが、合併症を予防するために【食事】と【運動】の習慣を改善することが必要です。容易には変えられない生活をどのように改善するかを、医療チームでカンファレンスし治療方針を確認したうえで、それぞれの職種が役割をもってひとりひとりの療養支援をしています。例えば教育入院をして退院した後も、生活で困ったことがないか、



不安になったことはいかなどを確認します。血糖コントロールが困難な患者さんにとっての問題はなんなのか、生活状況に合わせた改善策はどんなことがあるのかを、患者さんや同席される家族さんと一緒に考えています。

また、糖尿病集団教育として「糖尿病教室」を企画し運営しています。さらに、地域のかかりつけ医やケアマネージャー、訪問看護ステーションとの連携も積極的にすすめ、より質の高い療養支援が提供できるよう取り組んでいます。